5.0.0.36412

更新履歴

- 重大な変更と既知の問題
  - モバイルアプリバージョン 21.1 以前のユーザーは、VMS 5.0 以降を実行しているシステムにアクセスできなくなります。
  - M1 Mac ユーザーは、デスクトップクライアントの互換モードを介して古いシステムに接続できません。
  - クラウドの認証情報を使用したログインは、インターネットに接続していない場合には機能しなくなりました。
  - 次の機能は Web クライアントおよびモバイルクライアントで利用できません
    - アーカイブ暗号化
    - 1 分以内の録画データ
  - リソースパネルと通知パネルの固定 / 解除がなくなりました。
  - ウェブページアイテムのコンテキストメニュー/ホットキーが削除されました。
    - Enter: アイテム最大化
    - I: 情報を表示
    - Del: レイアウトから削除

- OS/プラットフォーム
  - Apple M1 チップを搭載した Mac のサポートが追加されました。専用のインストーラーが提供されます。
    - x64 向けインストーラーでもインストールは可能ですが、動作は M1 Mac 向けに最適化されていません。
    - 4.2 以前のバージョンについて、M1 Mac 向けインストーラーは提供されません。そのため、互換モードによる旧システムへの接続ができません。
    - x64 ベースシステムに M1 向けクライアントはインストールできません。
  - Raspberry Pi 4 のサポートが追加されました。
  - MacOS 12 (Monterey) のサポートが追加されました。
  - Windows 11 のサポートが追加されました。
  - Windows Server 2022 のサポートが追加されました。

- 新機能
  - VMS 更新、VMS クラウド通信、ライセンス検証などを含むすべてのインターネットリクエストは、OS の SSL/TLS 証明書検証機能を使用し、中間者攻撃を防ぎます。
  - すべてのサーバー接続は、SSL/TLS 証明書ピンニングを使用して中間者攻撃を不可能にします。
    - サーバーは統合時に証明書を交換し、すべての接続でそれらを検証します。
    - クライアントは最初の接続で証明書を固定し、後続の各接続でそれらを検証します。
    - クラウド接続するクライアントは、クラウドを介してサーバーを検証します。
    - クライアントは厳格モードを使用することで、信頼できるサーバーへの接続のみに制限できます。
  - サーバーとクライアントは、新しいセッションベース (ベアラートークン) 認証をデフォルトで使用します。
    - ローカルユーザーの場合、古い認証はデフォルトで無効になっているため、ローカル DB に MD5 パスワードが保存されません。
    - クラウドユーザーの場合、デフォルトで OAuth2 認証が使用されます。これにより、サーバー所有者がユーザーのクラウドパスワードを侵害するのを防ぎ、オフラインクラウドログイン攻撃を不可能にします。
    - クラウドで二要素認証を有効にして、OAuth2 認証をさらに安全にすることができます。
    - 多くのサーバーAPI では実行時に、直近で認証されたユーザーセッションが必要です。これには、API レベルでのパスワード確認が必要です。
  - Web 管理画面の再設計
    - ユーザーの追加・削除・パスワード変更が可能になりました。
    - 3 種の新しいタブ
      - サーバー: ストレージ情報の表示、外部ストレージの追加
      - カメラ: カメラ情報の表示、録画の有効化、モーション感度の変更
      - ライセンス: ライセンス情報の表示、ライセンスの有効化
  - デスクトップクライアントの個別更新
    - デスクトップクライアントはサーバーと別にリリースされるようになりました。
    - デスクトップクライアントは、現在のサーバーバージョンと互換性のある最新バージョンのデスクトップクライアントを自動的にダウンロードしてインストールできます。
  - オブジェクトパネルは、より使いやすいオブジェクト検索機能を提供するために再設計されました。

- デスクトップクライアントのようこそ画面を再設計
  - 表示モードを選択して、検出されたシステムの全てまたは一部を表示
    - 全てのシステム
    - お気に入り (お気に入りに追加したシステムのみ表示)
    - 非表示 (非表示にしたシステムのみ表示)
  - システムの並べ替えの優先順位には、追加されたステータス (お気に入り/非表示) を考慮します。
  - 特定の属性でシステムを検索するオプションを追加
    - システム名
    - サーバー名
    - IP アドレス (デスクトップクライアントによって検出されたすべてのサーバーの中から)
    - システムオーナー (クラウドシステムのみ)
    - ユーザーのメールアドレス (クラウドシステムのみ)
- ユーザーは、カメラやその他のリソースをリソースツリーのカスタムグループに編成できるようになりました。グループを作成するには、リソースを選択して右クリックし、[グループを作成] をクリックします。
- 映像プレビューサムネイル (Windows / macOS) - タイムラインにマウスカーソルを合わせると表示されます。
- アーカイブの暗号化 - 有効にすると録画映像が暗号化され、デスクトップ / モバイルクライアント、Web 管理画面、クラウドポータルでのみ再生可能になります。
- オーディオビデオマッピング
  - カメラまたは I/O モジュールからのオーディオソースは、別のカメラのマイクの代わりに使用できます。
  - スピーカーのないカメラでも双方向音声ボタンを使用して、スピーカーのある別のデバイスに音声を送信できます。
- 通常はクライアントコンピューターからアクセスできない Web ページを、デスクトップクライアントを使用してサーバー経由でプロキシできるようになりました。
- 前のセッションの復元 - 特定のインターフェイス要素の状態を保存し、デスクトップクライアントの起動後に復元できます。
- Web ページに埋め込まれたクライアント Javascript API により、追加機能が有効になります。
  - カメラの表示・非表示
  - 映像の再生・停止
- サーバーが ZFS ストレージに対応しました。

- 改善点
  - 「カメラ設定」ダイアログの改善:
    - 録画スケジュールに新しい録画モードを追加
      - オブジェクトのみ
      - オブジェクト + 低解像度
      - モーション & オブジェクト
      - モーション & オブジェクト + 低解像度
    - 録画スケジュールが無効な場合、感嘆符アイコンがリソースツリーに表示され、「録画スケジュールが無効です」といった通知が通知パネルに表示されます。問題が解決するまで、録画モードは「常時」に設定されます。
    - オブジェクト検出に使用するカメラストリームを選択するオプションが追加されました (「モーション」タブを参照)。
    - カメラの設定がより簡単になり、設定ミスの可能性が低くなります。
    - 自動検出されたカメラの録画スケジュールには、デフォルトで次の設定がされています。
      - 録画タイプ: モーションのみ
      - 映像品質: 高
      - FPS: 最大値
    - RTSP / HTTP ストリームに対する「カメラのストリームおよびプロファイル設定を保持する」オプションが削除されました。
    - 「カメラのストリームおよびプロファイル設定を保持する」が有効になっている場合、または「システムによるカメラ設定の変更を許可する」が無効になっている場合、[録画] タブの [FPS] と [映像品質] フィールドは無効になります。
    - [録画] タブで、システムに十分なライセンスがない場合のユーザーへの警告が改善されました。
    - カメラで録画が有効になっていない場合、[分析] タブに警告バナーが表示されます。
    - PTZ 感度が [エキスパート] タブで変更できるようになりました。
    - マウント角度補正プレビューで、光軸を中心としたカメラの仮想回転が表示されるようになりました。
  - リソースツリーが大規模システム向けに最適化され、デスクトップクライアントでのロード時間が短縮されました。
  - Web クライアントでの映像再生が改善されました。
  - 魚眼コントロールの再設計 - ズームイン/アウトのホットキーが追加されました。

- アーカイブバックアップの新オプション
  - 1 つのイベントタイプに関連付けられたアーカイブ
    - モーション
    - ブックマーク
    - オブジェクト
  - イベントタイプのすべての組み合わせに関連付けられたアーカイブ
    - モーション + ブックマーク
    - ブックマーク + オブジェクト
    - モーション + オブジェクト
    - モーション + ブックマーク + オブジェクト
  - すべてのアーカイブ
- リソースパネルのツールチップを改善
  - 録画が有効になっているカメラの映像プレビューサムネイルを表示する際の遅延を最小限に抑えます。
  - リソースにカーソルを合わせると、映像プレビューサムネイルが 2 ～ 3 秒ごとに更新されます。
  - 15 分以上更新されていない場合、「プレビューが古くなっています」というテキストが映像プレビューのサムネイルの上に表示されます。
- 録画が有効になっているカメラでは、直近 1 分以内の録画をデスクトップクライアントで再生できるようになりました。
- デスクトップとスタートメニューにクイックスタートガイドを追加しました。
- ストレージ管理が改善され、複数のサーバーに同じストレージパスを使用する場合のストレージ競合の可能性が減少しました。
- 「説明」列がブックマークログに追加されました。
- コンテキストメニュー「ブックマークのテキストをコピー」が利用できるようになりました。この機能を使用して、選択したブックマークの内容をブックマークログからテキスト形式でコピーします。
- リソースツリーを操作するためのホットキーが追加されました。
  - Ctrl (Cmd) + F - 検索ボックスを選択
  - 矢印キー上下 - 検索ボックスとリソースツリー内アイテムとの行き来
- 「サーバー設定」ダイアログの [保存先] の順番を変更しました。現在、次の順序でグループ化され、アルファベット順に並べ替えられています。
  - ローカル
  - USB
  - ネットワーク (network)
  - ネットワーク (smb)

- タイムラインアクション用の新しいホットキーを追加
  - '[' キー -「開始位置の選択」(マウスカーソル位置基準)
  - ']' キー -「終了位置の選択」(マウスカーソル位置基準)
- ブックマークログの検索フィルターのデフォルトは、1 年から 1 週間になりました。
- モーションのみの映像をエクスポートすると、モーションイベントのない期間が無視され、それぞれのモーションイベントがつなぎ合わされてシームレスに再生されるようになりました。
- デスクトップクライアントでパスワードを変更すると、ようこそ画面に保存されているパスワードが自動的に更新されるようになりました。
- クライアント内のユーザーマニュアルを再設計
  - モダンな外観
  - 検索ツールの改善
  - トピックの折りたたみ / 展開
- Web ページアイテムのコンテキストメニューの [編集] は、[Web ページ設定] に名前が変更されました。
- パスワードの表示は、次のダイアログで切り替えることができます (左クリックして長押し): デバイスの追加、カメラ認証情報、LDAP 設定、ログインダイアログ (ようこそ画面)、SMTP シンプル/詳細設定、ユーザーの作成、ネットワークストレージの追加、サーバーに接続。
- サーバーが ONVIF media2 を使用してプロファイルを取得するように、ONVIF カメラのエキスパート設定にオプションを追加しました。
- システムオーナーはデフォルトで、管理者関連のイベントについてモバイルプッシュ通知を受け取ります。
- 最小および最大のアーカイブ保持期間を、分、時間、および日単位で設定できるようになりました。
- Mac 版クライアントのフルスクリーンモードを有効にするホットキーが、CMD + F から CMD + CTRL + F に変更されました。
- デュアル GPU を搭載したノート PC では、デスクトップクライアントはデフォルトで内蔵 GPU ではなく追加 GPU を使用します。
- オーナーの他、管理者も web 管理画面でサーバーを再起動できるようになりました。
- 自動検出がオフになっており、カメラがシステム内の別のサーバーに登録されている場合、VMS サーバーはカメラに ONVIF リクエストを送信しなくなりました。
- デスクトップクライアントからサーバーに送信される要求の数が大幅に減少したため、大規模システムのパフォーマンス向上が期待されます。

- 分析機能の改善 / 修正
  - OpenVINO がカメラ設定画面に表示されなかった問題を修正。
  - Hikvision 分析プラグイン
    - 新しい顔検出メソッド「Face Capture」に対応しました。
    - LPR のリクエストを減らすために、分析プラグインを最適化しました。
    - LPR イベントのタイムスタンプが正しく解釈されず、E メールや通知パネルのサムネイル、ブックマーク等が正しく表示・付与されない問題を修正。
    - LPR のオブジェクト境界ボックスが間違った場所に表示される問題を修正。
    - LPR がナンバープレートを認識できなかった場合でも壊れたオブジェクトを送信することがある問題に対処。
    - 重複したオブジェクトが生成される問題を修正。
    - DS-2CD4A26FWD-IZS/P が深夜 0 時以降最初に検知したナンバープレートが、デスクトップクライアントに表示されない問題を修正。
    - 分析イベントが DS-2CD3T56G2-4IS で動作しない問題を修正。
    - DS-2CD3T56G2-4IS のイベントルールが正常に動作しない問題を修正。
    - 一部のカメラで境界ボックスが間違った場所に表示される問題を修正。
    - 新しいファームウェアのカメラでオブジェクトが表示されない問題を修正。
  - VIVOTEK 分析プラグイン
    - ANPR パッケージに対応。
    - 構成された群衆検出エリアが、カメラの Web インターフェイスに正しく反映されない問題を修正。
    - サーバーが出荷時設定にリセットされた後、高さと角度の値を VIVOTEK カメラに適用しなかった問題を修正。
    - サーバー側の設定値上限がカメラ側の設定値を上書きする問題を修正。

- 新規対応デバイス / 改善 / 修正
  - 新規対応デバイス
    - AXIS Q1775, Q6044
  - マルチセンサーカメラ
    - Arecont Vision AV8476, AV10856x, AV20476, AV4856DN
    - Axis P3705, P3727-PLE, Q6010-E, Q6100-E
    - Hikvision DS-2DP0836x, DS-2DP3236x, DS-2CD6825x, DS-2TD2637x, DS-2CD6D52G0x, DS-2CD6924G0-HIS, DS-2CD6984G0 シリーズ, DS-2TD1217-6/V1, DS-2TD1228, DS-7104HGHI-F1, DS-2TD1217-2/PA
  - アドバンスド PTZ 対応
    - Canon VB-H45, VB-R12VE, VB-R13
    - Hikvision DS-2DE2A404IW-x, DS-2DF8442IXS-x, DS-2DP1636Z-D
    - Panasonic WV-S6131, WV-X8571
    - VIVOTEK SD9384, 9161, 9368
  - 入力イベント修正
    - HIKVISION DS-2CD2T86G2, DS-2CD2346G2x, DS-2CD2386G2x
  - アナログエンコーダー対応
    - AXIS P7316
    - Hikvision iDS-7208HQHI-x, iDS-7216HQHI-x, DS-7116x, DS-7208x, DS-7316x, DS-7332, DS-7616x, DS-7716x, DS-7732x, DVR-104G-F1, DVR-216G-F1, ERT-F204, iDS-7204HQHI-M1/S, iDS-7208HQHIx, iDS-7216HQHIx, DS-7232x, DS-9616x, IP-32CH-x, DS-7324, DS-7632x, NR32P8-8, iDS-7216HUHI, iDS-7216HUHI-M2/S
    - Vivotek VS8100-v2, VS8100x
  - カメラファームウェアのバグにより、「メタデータストリーミングが失敗」という誤解を招くプラグイン診断イベント通知が通知パネルに表示される問題を修正。
  - サーバーの再起動後グリッドに配置するまで、Advantech ADAM-6060 I/O ユニットからの出力がイベント ルールによってトリガーされない問題を修正。
  - Arecont Vision AV3105 のモーション検知の問題を修正。
  - Arecont Vision AV8185DN のライブ再生が止まる問題を修正。
  - Arecont Vision AV10655DN のライブ映像がデスクトップクライアント上に表示されない問題を修正。

- AXIS A9161 I/O デバイスからストリームを取得できない問題を修正。
- AXIS A9188 I/O デバイスに音声ストリームがない問題を修正。
- カメラ設定画面で AXIS D2050 の Web ページの問題を修正。
- AXIS Q6100-E での HTTP の問題により、収容サーバーにおいて、そのモデルでの録画の有効化とシステム設定での変更の保存に支障を来す問題を修正。
- AXIS T8311 ジョイスティックが接続されている場合、デスクトップクライアントが起動直後にクラッシュする問題を修正。
- 自定義 ID を除くすべての設定が、Axis スピーカーの [エキスパート] タブで無効になっていた問題を修正。
- 利用可能な Motion Guard および Fence Guard プロファイルの数が、構成されたプロファイルを持つ Axis カメラの数と一致しない問題を修正。
- 一部の Canon カメラで、RTSP CSeq 制限によりライブストリームが断続的に停止する問題を修正。
- i-PRO (Panasonic) 全モデルで、ONVIF Media2 をデフォルトで使用するよう変更。
- Panasonic WV-S6130 の設定の問題を修正。
- Hikvision DS-6704HUHI で、ONVIF PTZ をデフォルトで使用するよう変更。
- Hikvision DS-7232HQHI-K2 のイニシャライズに失敗する問題を修正。
- Hikvision NVR DS-7732NI-14/16 が ONVIF の問題により、サーバーに正しく接続できない問題を修正。
- Hikvision DS-2CD2543G0-IS, DS-2CD2563G0-IS, iDS-2CD7546G0-IZHSY の I/O 信号イベントに対応。
- Hikvision DS-2CD2646XM, DS-2SC3Q140MY の PTZ 問題について、ONVIF PTZ を利用することで対処。
- Vivotek FD9387-HTV-A が壊れた H.265 ストリームをサーバーに送信する問題を修正。
- Vivotek SD9366-EH-v2 のイニシャライズの問題を修正。
- ONVIF media1 または media2 を強制しても、VIVOTEK カメラで GetProfiles エラーが発生する問題を修正。

- 不具合修正
    - リソースツリーでのドラッグ&ドロップによる、Web ページアイテムへのアクセス権の追加が機能しない問題を修正。
    - 別のレイアウトに切り替えてから元に戻ると、Web ページの状態が保存されない問題を修正。
    - デスクトップクライアントのクラウドログインダイアログの [ログイン] ボタンが、1 回失敗しただけで無効になる問題を修正。
    - RTSP ストリームとして追加されたカメラのカメラ設定に、ベンダーとモデルの情報が表示される問題を修正。
    - 名前に特殊文字を含むユーザーアカウントを作成できる問題を修正。
    - チェックボックス「起動後、直前に使用したシステムに接続する」の状態が、ログアウト時にリセットされる問題を修正。
    - クライアント内 Web ブラウザーで、一部のフォントが正しく表示されない問題を修正。
    - Mac 版デスクトップクライアントで F2 ホットキーが機能しない問題を修正。
    - 既存の仮想カメラに新しいファイルをアップロードする際、「一部のファイルはアップロード後すぐに削除される可能性があります」という警告が誤表示される問題を修正。
    - 削除された録画データに関連するモーションタイルが通知パネルに表示される問題を修正。
    - [ローカル設定] で [ライブバッファー上限値] が変更された場合に、デスクトップクライアントがユーザーに再起動を要求しない問題を修正。
    - デスクトップクライアントのリソースツリーを移動するために矢印キーを使用しても、正しく機能しない問題を修正。
    - フィルタリングされた通知が通知パネルに表示されたままになる問題を修正。
    - USB カメラの音声が有効になっていると、Raspberry Pi デバイスで実行されているサーバーがクラッシュする問題を修正。
    - 一部のカメラで、カメラ設定で歪み補正を有効にした後、歪み補正モードに切り替わらない問題を修正。
    - 一部のカメラで透かしのサイズが正しくなかった問題を修正。
    - 感度ゼロのエリアでモーション感度を変更できない問題を修正。
    - デスクトップクライアントとサーバーの時刻が異なる場合、ソフトトリガーがスケジュールで有効にならない問題を修正。
    - シーケンス表示の表示期間がキーボードで変更できない問題を修正。
    - [ストリームの編集] ダイアログにテキストコピーボタンが存在しない問題を修正。
    - 空きディスク容量が 10 GB 未満の場合のバックアップファイルの保存方法に関する問題を修正。

- 録画のオン/オフ時、リソースツリー内のカメラのステータスインジケーターの更新に時間がかかる問題を修正。
- 分析プラグインで追加のフレーム処理遅延が設定されている場合、録画欠損が生じる問題を修正。
- 一部のイベントが通知パネルで数回繰り返し通知される問題を修正。
- ログファイル内の録画映像ファイルパスに不適切な文字が含まれる問題を修正。
- 新しく追加されたカメラと事前に開いていた既存のカメラを切り替えると、タイムラインのスケールが保存されない問題を修正。
- Web ページが事前に開かれている場合、ブックマークの再生が誤った位置で開始される問題を修正。
- アーカイブに破損したファイルがある場合、サーバーがクラッシュする問題を修正。
- リソースツリーのビデオウォール画面にアイテムを直接ドラッグすると、「既定の回転」値がアイテムに適用されない問題を修正。
- ゲスト権限の共有フォルダーを外部ストレージとして追加できない問題を修正。
- デスクトップクライアントのウィンドウが小さすぎる場合に、リソースパネルと通知パネルがシーンで開いているアイテムと重なってしまう問題を修正。
- 動画のエクスポートをキャンセルすると、エクスポートディレクトリに TMP ファイルが生成される問題を修正。
- システム管理の [ライセンス] タブを開くと、Mac コンピューターの CPU 負荷が高くなる問題を修正。
- 外部ストレージを追加する際、ホスト名部分にスペースがあるとサーバーがクラッシュする問題を修正。
- ナビゲーションパネルの最後のレイアウトを閉じると、デスクトップクライアントがクラッシュする問題を修正。
- 新しいロールを作成する前にユーザーロールダイアログのサイズを最大にすると、UI の不具合が発生する問題を修正。
- Web 管理画面で、[情報] タブのページをリロードすると、代わりに [アラート] ページが読み込まれる問題を修正。
- パスワードで保護された外部ストレージが認証情報なしで Windows に追加された場合、誤ったエラーメッセージが表示される問題を修正。
- 新しく追加されたカメラで魚眼歪み補正を無効にすると、ビデオウォールでストリームが回転する問題を修正。
- デスクトップクライアントでライブ映像を再生すると、VLC での再生よりも品質が落ちて見える問題を修正。
- 存在しないファイルを再生しようとしたときに、アーカイブの整合性チェックのアラートがトリガーされない問題を修正。

- 双方向オーディオやソフトトリガーが押されている間もシーケンス表示が循環し続ける問題を修正。
- 接続エラー発生時、「エクスポート失敗」メッセージが表示されない問題を修正。
- 再生速度を切り替えた際、マウスカーソルが意図せず移動する問題を修正。
- プレビュー検索の使用時に、一部のプレビューが読み込まれない問題を修正。
- プレ/ポスト録画が設定されている「デバイス録画」イベントの映像が、約 1 秒間フレーム欠落する問題を修正。
- 適切な権限を持たないユーザーが、リソースツリーのサーバーモニタリングを利用できる問題を修正。
- Ubuntu 版デスクトップクライアント操作中、オンスクリーンキーボードが表示されないことがある問題を修正。
- ライブおよび録画ストリームが、カメラの最大 FPS 値ではなく 60 FPS に制限されていた問題を修正。
- MPEG Audio layer 1/2 (mpga) コーデックでエクスポートされたファイルについて、デスクトップクライアントで音声が再生されない問題を修正。
- カメラ名に改行記号が含まれていると、エクスポートに失敗する問題を修正。
- 逆再生中に発生するメモリリークを修正。
- Intel RealSense Depth Camera D415 (USB カメラ) によってサーバーがクラッシュする問題を修正。
- カスタムメディアポートが設定されている場合、双方向オーディオが機能しない問題を修正。
- サーバーが送信する電子メールで誤ったエンコーディングが使用される問題を修正。
- 異なるネットワーク上で同一の IP アドレスを持つ 2 台の Hikvision カメラをクラウド接続システムに追加できない問題を修正。
- LDAP ユーザーが別の OU に移動された後にログインしようとすると、エラー「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」が発生し、LDAP ユーザーを削除して再追加しても解決できなかった問題を修正。
- 検索フィルターを使用すると、複数の LDAP ユーザーを一度にインポートできない問題を修正。
- 8K 解像度のライブ映像をデスクトップクライアントで開くと、CPU 使用率が高くなりすぎてフリーズする問題を修正。
- デスクトップクライアントでタイムラインを操作しているときに、マウスカーソルとアーカイブの再生動作がおかしくなる問題を修正。
- アーカイブから MJPEG 映像を要求した際に、サーバーが正しくない HTTP ヘッダーを送信する問題を修正。
- スピードドームカメラの PTZ コントロールが正しく機能しない問題を修正。

- テストカメラの映像をプラグインに渡すと、壊れたファイルが生成される問題を修正。
- モーション検索が有効な状態で録画映像を高速で巻き戻すと、メモリが過剰に消費される問題を修正。
- ポート 443 が開いていてポート 80 がブロックされている LAN でクラウド統合が機能しない問題を修正。
- デスクトップクライアントで仮想カメラにアップロードするフォルダーを選択する際、「選択したフォルダーにビデオファイルがありません」というエラーが表示されて失敗する問題を修正。
- 録画スケジュールに表示される FPS が、設定に保存されている FPS 値と一致しない問題を修正。
- デスクトップクライアントで Intel QuickSync が有効になっている場合、一部のカメラが高解像度でストリーミングされない問題を修正。
- 持続期間をもつイベントの最初の停止イベントが無視されない問題を修正。
- Hikvision の H.265 カメラの映像が、Web 管理画面およびクラウドポータルから表示できない問題を修正。
- オブジェクトタブが開いている場合に、ライブ映像が数秒遅延する問題を修正。
- 手動で追加されたカメラに対して「カメラ切断」通知がトリガーされない問題を修正。
- ユーザーのアカウント名に特殊文字が含まれている場合に、映像のエクスポートに失敗する問題を修正。
- デスクトップクライアントの録画再生の問題を修正。
- Arecont Vision カメラから RTSP を取得する際のメディアサーバーのクラッシュと CPU 使用率の増加を修正。
- デスクトップクライアント (ローカル設定) で証明書の検証が無効になっている場合、[新規システムのセットアップ] ダイアログが表示されない問題を修正。
- .帯域幅が不十分な SMB ストレージを使用した際、メディアサーバーがクラッシュしたり、動作パフォーマンスが低下したりする問題を修正。
- 複数カメラを表示した際のデスクトップクライアントのメモリリークを修正。
- GUI クライアントの再起動後、最後に開いたレイアウトが復元されない問題を修正。
- 400Mb を超えるバックアップファイルを保存すると、デスクトップクライアントまたはサーバーがクラッシュする問題を修正。
- 大規模システムの Web 管理画面でメモリ使用率が増加する問題を修正。
- 最新パッチにより、データベースサイズが肥大しサーバーのメモリ使用率が増加、およびクライアントの接続速度が低下する問題を修正。
- デスクトップクライアントで高・低解像度をもつ録画映像を再生しても、セカンダリストリームに切り替わらない場合がある問題を修正。

- API/SDK 変更/修正点
  - 従来の RPC スタイル API に代わり、RESTful スタイルの新しいサーバーHTTP API が導入されました。
    - 新しい API にない機能は古い API でカバーされており、今後新しい API に追加されます。
    - 古い API は、今後しばらくのバージョンでサポートされますが、将来的には公式に非推奨になります。
    - 新しい API のドキュメントは、サーバーweb ページ上で利用可能です。
  - /api/systemSettings はオーナー・アドミニストレーターのみ利用可能になりました。
  - /api/createEvent に GET, POST ハンドラーののサポートを追加しました。
  - VMS サーバー構成パラメーター allowRemovableStorages の代わりに、defaultRemovableDriveState が導入されました。
  - 従来のサーバー API から「timezoneUtcOffset」プロパティが削除されました。
  - システム管理のプラグインタブにサブセクションが表示されない問題を修正しました。
  - サーバーパラメーター「motionType」と「backupDaysOfTheWeek」が JSON で正しく表現されなかった問題を修正しました。

- 既知の制限事項
  - 一部の AXIS カメラは、People Counter アプリがインストールされている場合、サーバーに追加することができません。
  - 同一の NVR チャンネルからの映像を、複数クライアント(web ブラウザを含む)で同時に再生できません。
  - ジョイスティック AXIS T8311 および SPC-2000 は MacOS に対応していません。
  - 次期修正予定
    - トークン認証により、時間経過でサーバーがハングすることがあります。
    - 時間経過でサーバーがクラウドに接続できなくなることがあります。
    - 二要素認証が有効な場合、クラウドポータルの「映像」ページが正しく表示されないことがあります。
    - シーン上アイテムのボタンに対するショートカットヒントが一部正しくありません。
    - デスクトップクライアントのシーケンス表示モードでメモリを余分に消費することがあります。
    - ジョイスティックを抜き差しした際、デスクトップクライアント上で利用できなくなることがあります。
    - AXIS M2036-LE が複数回検出されることがあります。
  - 次期対応予定アナログエンコーダー
    - Hikvision ds-7216hqi-k2, ds-7304hqhi-sh, ds-7316huhi-f4/n, ds-7916n-k4, ds-7932n-k4, dvr-116g-f1, dvr-204u-k1, dvr-208u-m1, ds-7308hfi-sh,ds-7604ni-i1/4p, ds-7b08hqhi-k1, ds-96128ni-i16, dvr-216u-f2, dvr-216u-m2, ids-7716nxi-i4/16p/x, ids-8104ahqxli-e4, ids-9632nxi-i8/16s(b),ids-9632nxi-i8/8f(b), ids-7204hqhi-k1, ids-7208huhi-m2/s/a, ids-7216hqhi-m2/s, ids-9632nxi-i8/x
  - 次期対応予定マルチセンサーカメラ:
    - Hikvision DS-2TD2628x

- 対応 OS
  - Windows 8.1, 10/Enterprise,11, 2008 R2, 2012, 2012 R2, 2016 v1607, 2019, 2022
  - Ubuntu LTS: 16.04, 18.04, 20.04
  - MacOS: 10.15 (Catalina), 11.0 (Big Sur), 12 (Monterey)
  - Raspberry PI 3 Model B V1.2 Kernel version 4.14 (Linux 9.4 (Stretch))
  - Raspberry Pi 4 Model B Raspbian 10 Buster.